



歴史研究所設立 20 周年ワークショップ

地域の歴史を未来へ引き継ぐ
—飯田下伊那地域史研究の現在—

2月17日（土） 10：00～15：30

飯田市勤労者福祉センター 第3・第4研修室 ※オンライン参加可

飯田市歴史研究所は2023年12月に設立20周年を迎えました。

飯田下伊那では、長年にわたり歴史研究が活発に行われ、全国的にみても優れた成果を数多く生み出してきました。歴史研究所はこれらを受け継ぎ、古文書、オーラル（口述）史料、写真や映像、建造物や景観など、この地域に豊富に残された歴史資料の調査や研究に取り組んできました。また、地域史研究に携わる市民や地域内外の研究者・研究団体との連携をとくに重視し、協働で調査・研究を進めて、世界や日本全体の歴史の中で飯田下伊那の地域史を描くことを目指してきました。

設立から20年を契機に、飯田下伊那の地域史研究の拠点として、こうした調査・研究を着実に発展させるとともに、市民や地域とのつながりをさらに深めていく必要があります。今回のワークショップでは、これまでの歴史研究所の足跡を振り返り、あわせて地域史研究の成果や課題を明らかにして、その中で今後の調査・研究活動がどうあるべきかを考えます。

▼報告

「生きるための江戸時代史」 多和田 雅保（横浜国立大学／歴史研究所顧問研究員）

「歴史文化を活かした地域づくり—座光寺の取り組み—」 田口 博人さん

（座光寺・歴史に学び地域をたずねる会）

「建築史研究と地域」 岩田 会津（歴史研究所研究員）

▼コメント

「近現代史研究の立場から」 田中 雅孝（歴史研究所調査研究員）

「満洲移民研究の立場から」 本島 和人（歴史研究所調査研究員）

【申込み】

①会場参加 ②オンライン参加 のどちらかでご参加いただけます。

2月15日（木）までに電話・FAX・メールのいずれかで参加方法と電話番号をお知らせください。参加は無料です。

右の専用フォームからお申込みいただけます。





昨年7月に着任した岩田研究員、伊藤研究員による歴研ゼミがいよいよ4月からスタートします！

岩田研究員は建築史ゼミ、伊藤研究員は地域史ゼミを担当します。

受講をご希望の方は、電話・FAX・メールのいずれかでお申込みください。詳しい内容等はお問い合わせください。

建築史ゼミ 担当：岩田 会津

★毎月第3金曜日18:30～20:30 ★初回4月19日(金)18:30～

建築史のなかに「都市史」とよばれる分野があります。単体の建築に注目するだけでなく、その集合体（集落、都市）のありようや周辺環境をも対象に入れて、建築の基盤をなす空間の歴史を総合的に分析しようというものです。お寺・神社の瀟洒な堂舎、あるいは百年以上続くような立派な古民家の調査も勿論大切ですが、我々の先祖の暮らしはそれだけで成り立っていたわけではありません。日常見る何気ない光景にこそ、その土地の歴史は刻まれているものです。それを丹念に掘り下げ、より広い視野から地域の歴史を見つめ直すのも面白いのではないのでしょうか。

詳細な内容は参加者と相談のうえ決めたいと思いますが、大枠としては次の二本立てで考えています。①一人一つずつ、身近な興味を持つ空間（建物や景観など）を取りあげ、その歴史を調査・発表していただきます（特にフィールド調査を重視します）。相互に意見交換をおこないながら、調査成果の意義や面白さを考えます。②調査手法や視点を学ぶべく、都市史にまつわる文献（特に建築分野）の輪読をおこないます。

受講に必要な前提知識はありません。都市レベルの分析で重要なのは建築の専門知識や高度な調査技法ではなく、目にする空間の面白さに気づく感性です。皆さんと積極的に議論を交わしながらゼミを運営していきたいと思います。関心がある方の積極的なご参加をお待ちしています。

地域史ゼミ 担当：伊藤 悠

★毎月第2・4金曜日18:30～20:30 ★初回4月12日(金)18:30～

飯田下伊那には、戦前から市村咸人氏や古島敏雄氏をはじめとする郷土史・地域史研究の豊かな蓄積があります。本ゼミでは、これまで多くの人に読まれてきた飯田下伊那の歴史における「古典」とも言うべき書籍や論考を改めて読んで勉強することを目標としています。さらに、それらの文献で利用されている史料の読み合わせも行うことで、その史料がどう読まれてきたのか、「古典」がどのように書かれたのかということについて理解を深めます。

ゼミの構成は、以下の二本柱を予定しています。

①文献の輪読 近世～近現代（特に近代）を対象とした文献を輪読します。ゼミで取り上げる文献は参加者の皆さんと一緒に決める予定ですが、昭和40年代頃までに出版された文献で、次の史料読解も見据えた文献を選びます。

②史料の再読解 上記の文献で引用されている史料を改めて読解する試みです。また、適宜関連する史料なども合わせて読みながら理解を深めたいと思います。

初年度は、産業や流通、入会林野など飯田の社会・経済の歴史に関わるテーマを中心に扱います。

飯田アカデミア2023 第101講座

城と城下町－米子城を事例として－

講師

かなざわ ゆうき

金澤 雄記 さん

(広島工業大学准教授)



米子城天守台



米子城復元画像

日時

2月24日(土)

第1講 13:30～15:00

城郭の復元－城の復元の現状をどう考えるか－

第2講 15:20～16:50

米子城天守－現存しない建物をどう復元できるか－

2月25日(日)

第3講 9:00～10:30

米子城御殿－飯田城の御殿もどんな建物だったか－

第4講 10:50～12:20

米子城下町の町家－生業の影響で町家はどう変化するのか－

講師より

鳥取県米子市は人口14万人の城下町で、飯田市と町の雰囲気や規模感がよく似ています。米子城には2基の天守がありましたが明治初期の廃城令で建物はすべて取り壊されました。しかしながら現在行政によって整備が進んでおり、某番組で最強の城に選ばれました。現存しない建物の復元手法を考えつつ、石垣しかない城での現在の取り組みについてお話しします。また米子城下町には町家が約700棟残っています。飯田の建物は養蚕業の影響が表れていましたが、生業の影響で町家はどう変化するのかについて考えつつ、現在のまちづくりの取り組みについてお話しします。飯田に似た地方都市での、あるものだけでの等身大のまちづくりについてみていただけたらと思います。

飯田アカデミア2023 第102講座

ロシア史を権力と民族から考える

講師

いけだ よしろう

池田 嘉郎 さん

(東京大学教授)

日時

3月23日(土)

第1講 13:30～15:00

リューリク朝とモンゴル支配

第2講 15:20～16:50

モスクワ大公国とロシア帝国

3月24日(日)

第3講 9:00～10:30

ソ連と現代ロシア

第4講 10:50～12:20

多民族国家ロシア：とくに現状に着目して

講師より

ロシアでは1905年、1917年、1991年と3度大きな体制変革の機会がありましたが、基本的な統治の構造はこれらの転換点を超えて継承されました。それは第一に統治者が法の上に立つという政治文化であり、第二に住民を団体に編成して統治を行なうという支配の仕組みでした。本講義ではこうした構造がなぜ変わらないのかを、通史をたどることで考えてみます。また、ロシア史において統治構造が形成される上で、民族の問題はどのような役割を果たしたのかについても検討します。第1講から第3講までは権力の問題を主に扱い、第4講で民族の問題を主題とします。とはいえ、二つの論議は緊密に結びついているので、全ての回において両方の問題について適宜言及するつもりです。

会場

飯田市役所C棟 3階会議室

資料代

500円 ※高校生以下無料

申込み

電話、FAX、メールのいずれかで、①講座名 ②受講方法(会場での受講(定員80名)または自宅等でのオンライン受講) ③電話番号 ※オンライン受講は、郵便番号とご住所まで をお知らせください。第101講座か第102講座のどちらの講座かをお確かめになってお申込み下さい。

締切

[101講座] 会場：2月21日(水)、オンライン：2月10日(土)

[102講座] 会場：3月21日(木)、オンライン：3月9日(土)

定例研究会

▶村々の経済更生運動取組(仮)

報告者 伊坪達郎(歴史研究所特任研究員)
開催日 3月16日(土)
時 間 14:00~16:00
会 場 歴史研究所 研修室
※聴講をご希望の方はお電話ください



研究活動助成報告会

歴史研究所では、個人や団体の歴史研究活動に対して助成を行っています。今年度この助成を受けられた方の研究報告会を開催します。

報告者 島田 栞音さん(東京外国語大学)
「御林と江戸商人による請負
—信州伊那郡南山村漆平野を中心に—」

開催日 3月16日(土)
時 間 10:30~12:00
会 場 県公民館 3階講義室

※聴講をご希望の方は直接お越しください

メール配信のお知らせ

歴研ニュースはメール配信を行っています。メール配信への切り替えをご希望の方は、下記アドレスへご連絡ください。

iihr@city.iida.nagano.jp



ワークショップ

山里社会におけるモノと人の循環、文化の開花

歴史研究所もかかわる共同研究プロジェクトのワークショップが開催されます。

日時: 3月9日(土) 10:00~16:30
会場: 東京外国語大学 海外事情研究所
(オンライン参加可)

主催: JSPS科学研究費助成事業基盤研究(A)「南信濃山里社会の文化的景観とその歴史的形成過程に関する基盤的研究」(代表: 吉田ゆり子)

[報告者]

吉田 伸之(東京大学名誉教授)
高橋 元貴(金沢工業大学)
坂本 広徳(「清内路—歴史と文化」研究会)
多和田 雅保(横浜国立大学)

[趣旨]

「公儀榑木」と「商人木」の伐り出し、搬出、流通、販売システムと、人的、物的移動に伴う文化的交流の検討を通して、南信濃地域における個性ある山里社会相互の、また外部世界との関係構造を明らかにします。そして、山里社会の文化的景観形成過程を歴史的、段階的に検討し、景観に現われた地域の個性と多様性を描き出します。

お申し込み等、詳細は科研ホームページ「山里の歴史と景観」をご覧ください。
<<https://yamazatokeikan.org/>>

歴研ゼミ&ワークショップ2月・3月の予定

会場: 歴史研究所 研修室

受講生
募集中!!

近世史ゼミ

担当: 羽田真也(研究員)
2月14日・28日/3月13日・27日
(第2・第4水曜日) 18:30~20:30

満洲移民研究ゼミ

担当: 本島和人(調査研究員)
齊藤俊江(調査研究員)
第145回 2月3日/第146回 3月2日
(第1土曜日) 10:00~11:40

近現代史ゼミ

担当: 田中雅孝(調査研究員)
3月16日 ※1週早まります
(第4土曜日) 10:00~11:40
※2月24日は休講

思想史ワークショップ

市民の皆さんが自主的に学び合う場
2月7日・21日/3月6日
(第1・第3水曜日) 19:00~21:00
※3月20日は祝日のため休講



ゼミ・ワークショップの詳細・お申し込みについては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL: 0265-53-4670

開所時間: 午前9時~午後5時 休所日: 日曜日・月曜日・祝日・12月29日~1月3日
メール配信への切り替えをご希望の方は、E-mail: iihr@city.iida.nagano.jp まで